

第45回衆議院選挙戦最終日にあたっての談話

民主党兵庫県連代表 辻 泰弘

熱く燃え、激しく闘ってきた選挙戦も本日で終わり、明日投票日を迎えることとなった。

我々は、この選挙を、日本の政治を根本的に変え、庶民の手に政治を取り戻す、政権交代をかけた歴史的な政治決戦と位置づけ、公認・推薦 12 候補全員の勝利をめざし、兵庫県連の総力を挙げて闘ってきた。

前回選挙以降の過去4年間にわたる各候補者の心血を注いだ地道な活動の積み重ねと、党本部からの熱い期待を込めた応援体制の下に、幅広い取り組みを繰り広げてきたが、真摯に国民生活を思い、純粹に日本の将来を思う我々の切なる訴えは、広く県民の皆さんの胸に響き、心を大きく動かすに至ったものと判断している。

まさに、天の時、地の利、人の和の全てがそろった闘いができた。

今や、庶民感覚なく、政権党としての自覚なく、政策能力を喪失した自民党政治に終止符を打つべし、との県民の総意は固まった。もはや、政権交代は必至。民主党政権の樹立あるのみ。

この上は、今回の歴史的な選挙を県民の皆さんとともに最後まで闘い抜き、「山」を動かし、民主党の圧倒的な勝利を勝ち取りたい。

いよいよ、明日の夜には、長年の悲願であった政権交代が成就するものと強く確信している。

(2009. 8. 29)